

授業概要（シラバス）

■科目基本情報

専門学校日本ホテルスクール

年 度	2025年度	年 次 / コ ー ス	昼間部2年	ホテルSNSコミュニケーション科	科 目 区 分	一般教育科目	
科 目 番 号	GS206	分 類	講義科目	授 業 科 目 名	グローバル・スタディ2	英語科目名	Global Studies II
開 講 学 期	通年科目	単 位 数	2単位	年間授業時間数	29時間	授 業 コ マ 数	24コマ
授 業 の 方 法	演習科目	担 当 教 員 名	井出 弘毅		備考		
経 歴							

■授業・科目情報

学 習 目 標	情報を読み解くリテラシーに磨きをかけ、自ら考え判断することができるようになる。グローバル化が進む社会において、適切な他者理解ができるよう、文化の多様性を理解する。国内外の事柄について、自分の言葉で論理的に説明し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。		
教 科 書	教科書：なし。		
参 考 書	参考書：「国際情勢2資料集 2025年度版」、2025。		
授 業 計 画	回数	タイトル	内容
	1	オリエンテーション	講師の自己紹介・授業内容の紹介、評価方法、授業コメントについてなど
	2	国とはどのようなものか	国とは何かということについて、おおまかな世界のしくみを考える。
	3	国民国家とは何か	国民国家の成立、国民国家のしくみについて解説する。
	4	世界の人種と民族	「人種」概念と「民族」概念の違い、それぞれの意味する内容について解説する。また、それらの概念を巡って過去に起こったホロコーストについても考える。
	5	宗教とはどのような文化か	宗教という文化についてのバイアスをできるだけ取り除くため、宗教が元々持っている役割を中心に、宗教に対する基礎的な理解を促す。
	6	3大宗教の聖地エルサレム	キリスト教、イスラム教、ユダヤ教という3つの世界的宗教について、基礎的な解説をする。聖地エルサレムに関する画像・映像を紹介し、シンクレティズムと関連して宗教の共存について考える。
	7	移民国家アメリカ	人種・民族差別を解決するための2つの異なる立場・考え方を紹介し、最近日本においても採用されつつあるアフーマティブアクションという具体策について考える。
	8	欧州連合	EUの統合に関しては、統合できた分野と統合できなかった分野があるということに重点を置き、地域統合のあり方について考える。
	9	分断国家 韓国と北朝鮮	韓国・北朝鮮という分断国家・地域について基礎的な解説をする。実際の画像・映像を紹介しつつ、アジアにおける分断国家について理解を深める。
	10	世界の環境問題	環境問題の原因について、南北問題という本来は関係のない問題があることを理解する。そして先進国と途上国の思惑が対立していることから、どうすればこうした問題を解決できるのか方途を探る。
	11	エネルギー問題、前期のまとめ	人間のエネルギーである食糧の自給率について考える。また埋蔵エネルギーの未来について考える。前期のポイントのまとめを行なう。
	12	定期試験	学習理解度を確認、力試し
	13	言葉と世界	世界で話されている言語について概観し、国連公用語などの影響力を持つ言葉、逆に絶滅の危機に瀕している言葉の存在が生じている理由を歴史を踏まえて説明することができる。
	14	難民問題1	難民問題の現状と原因についてロヒンギャ問題を題材に分析し、その中でSNSが持った影響について説明できるようにする。
	15	難民問題2	各国の難民問題の取り組みとの比較を通じて、日本の難民問題への取り組みの問題点を挙げることができるようになる。
	16	外国人労働者問題	外国人が多いエリアについて調べることを通じて、日本における外国人労働者の問題を明らかにし、その課題を指摘することができる。
	17	LGBTQと観光	LGBTの基本知識を身につけ、ツーリズムとの関連性について説明できるようになる。
	18	多国籍企業1	外食分野の多国籍企業を事例として、海外展開で取られる戦略を説明できるようになる。
	19	多国籍企業2	SNSやインターネット上の各国の外食産業の情報を集めて分析し、外国の食文化を説明できるようになる。
	20	多国籍企業3	外国の食文化、嗜好を踏まえ、日本の外食産業が展開できる余地を検討し、どのような日本料理が受け入れられるか、根拠を持って仮説を立てることができる。
	21	日本の世界遺産1	世界遺産の定義、選ばれるプロセスや仕組み、3つの分類を説明できるようになる。
	22	日本の世界遺産2	日本のそれぞれの世界遺産がどのような背景でどの分類で選定されたかを説明できるようになる。
	23	日本の世界遺産3	世界遺産とオーバーツーリズムの問題について考察をし、世界遺産を保存し続けるための方策を指摘することができる。
	24	日本の文化遺産	歌舞伎、落語、能といった日本の文化遺産について整理し、それぞれの特徴を簡潔に説明できるようになる。
	25		
	26		
授 業 の 進 め 方	①前回の授業以降の国際ニュースを共有する。②資料集に基づいて授業を行なう。③ポイントを明確に示す。④重要な国際ニュースがあった場合、授業内容を変更して解説する。		
成 績 評 価 方 法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。本校規定に基づき、共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50％（10ポイント）、②出席率 ＝50％（10ポイント）		
関 連 科 目	国際情勢Ⅰ、異文化コミュニケーション、グローバルスタディⅠ・2		
学 生 へ の メ ャ ッ ー ジ	ホスピタリティ業界ではお客様との出会いがあります。接客上、国際的な知識は有益です。国際ニュース「今」起きている事を理解すること、世界の仕組みや外国の事柄、国際問題に対する見方・考え方を共有していきます。事象を相対的な視点から「見て、知って、考える」ことを目指します。		